

令和2年3月 博士前期課程・修士課程修了確定者アンケート集計結果

- ◎概要 本学の教育システムの成果を評価し、教育研究活動の改善に反映させるため、実際に本学で教育を受け、研究に従事した修了確定者に対しアンケートを実施した。
- ◎実施期間 令和2年3月4日から3月25日（学位記授与式）まで
- ◎実施方法 理事（教育担当）・副学長名でアンケートの実施を電子メールで通知し、webによる回答又は学生・留学生支援課及び東京サテライト事務室内に回収箱を設置し紙による回答も可として実施した。

◎調査対象 学位別：知識76名、情報96名、マテリアルサイエンス72名、融合8名 合計252名

◎回答者人数

学位	人数	学位別回答率
知識科学	54	71%
情報科学	66	69%
マテリアルサイエンス	43	60%
融合	6	75%
合計	163	全体回答率
		65%

各項目の無回答分は集計から除いている。

寄宿舍居住者	91
社会人	25
東京サテライト	16
学内進学予定者	24

参考: 令和2年3月修了確定者アンケート集計結果の3年間の比較

・各項目ごとの回答のうち、肯定的な回答「とても良い+良い」等の比率を比較したものを。

2. 本学では、単位制度を徹底するために専門科目の授業は極力午前中に開講し、午後は個別指導を行うためのオフィスアワーと教室外における準備学習・復習の自学自習時間、およびグローバルコミュニケーションセンター開講科目、その他の科目等の開講に充てています。この制度についてどう思いますか。

平成30年		平成31年		令和2年	
106/127	83%	162/189	86%	129/148	87%

5. グローバルコミュニケーションセンター開講科目群のうち英語科目の履修者にお聞きます。あなたの英語力向上に有意義なものでしたか。

平成30年		平成31年		令和2年	
55/69	80%	77/108	71%	63/91	69%

7. 社会人コース(東京サテライト)の修了者にお聞きます。授業や研究の内容はどうか。

講義や研究の内容

平成30年		平成31年		令和2年	
14/14	100%	12/17	71%	16/16	100%

9. 本学では、幅広い基礎知識と能力の修得のため、主テーマ研究の他に副テーマ研究を設け、見識を広めて主テーマ研究に活かす制度をとっています。この主テーマ・副テーマ制度は、あなたにとって有意義な制度でしたか。

主テーマ研究

平成30年		平成31年		令和2年	
146/151	97%	206/211	98%	157/161	98%

副テーマ研究

平成30年		平成31年		令和2年	
108/149	72%	158/209	76%	127/161	79%

10. 主テーマ研究及び副テーマ研究の開始時期についてどう思いますか。

主テーマ研究

平成30年		平成31年		令和2年	
118/154	77%	145/211	69%	114/161	71%

副テーマ研究

平成30年		平成31年		令和2年	
91/153	65%	135/211	64%	97/161	60%

11. 本学では、計画的な履修を促すため、学修計画・記録書の作成を求めています。この学修計画・記録書は十分活用されましたか。

平成30年		平成31年		令和2年	
45/153	29%	74/211	35%	54/161	34%

12. 本学では、主体的な学修を促す仕組み(ゼミでの発表、授業におけるレポート提出、学生グループによる取組等)があったと思いますか。

平成30年		平成31年		令和2年	
130/153	85%	182/211	86%	147/161	91%

13. あなたにとって、本学の博士前期課程は、『「知的にたくましい」人材の養成に沿った教育』を受けることにより、上記のような力を修得することができましたか。

平成31年		令和2年	
105/129	81%	113/130	87%

14. あなたにとって、本学の博士前期課程は、上記の「人材養成目的に沿った成果」をあげることができるものでしたか。

平成30年		平成31年		令和2年	
132/153	86%	179/211	85%	140/161	87%

15. 本学では、入学後1週間のオリエンテーションを実施し、学長講話、履修ルールの説明、研究室紹介、各学系・センター企画、語学教育・海外派遣、学生生活ガイダンス、進路ガイダンスなど様々な企画を実施し、本学の教育内容等を研修するとともに学生同士の交流を図っています。あなたにとってこの取組は有意義なものでしたか。

平成31年		令和2年	
110/141	78%	100/122	82%

16. 導入配属(仮配属)について、どのような感想を持っていますか。

制度	平成30年		平成31年		令和2年	
	78/154	51%	117/209	56%	90/157	57%

期間	平成30年		平成31年		令和2年	
	77/154	50%	101/209	48%	101/157	64%

指導教員	平成30年		平成31年		令和2年	
	124/154	81%	166/209	79%	125/157	80%

17. 本学では、学生1人に対して主指導教員、副指導教員、副テーマ指導教員又はインターンシップ指導教員の3人が様々な課題や立場から教育研究指導する複数教員指導制をとっています。この制度は、有意義な制度だと思いますか。

平成30年		平成31年		令和2年	
115/154	75%	145/188	77%	121/157	77%

18. 主指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか。

研究指導	平成30年		平成31年		令和2年	
	149/154	97%	200/209	96%	149/157	95%

就職・進学指導	平成30年		平成31年		令和2年	
	137/154	89%	172/209	82%	130/157	83%

研究室運営・ 学生生活指導	平成30年		平成31年		令和2年	
	137/154	89%	182/209	87%	133/157	85%

19. 副指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか。

平成30年		平成31年		令和2年	
114/154	74%	161/209	77%	123/157	78%

20. 副テーマ指導教員又はインターンシップ指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか

平成30年		平成31年		令和2年	
130/149	87%	180/209	86%	135/157	86%

22. 教育支援課、学生・留学生支援課の事務職員の全体的な対応について、どのような感想を持っていますか

平成30年		平成31年		令和2年	
128/154	83%	165/208	79%	134/157	85%

26. 本学では、全学一体となったキャリア形成支援・就職支援行事等を学生・留学生支援課就職支援室と就職担当教員が連携し実施しています。また、自由応募・推薦応募に対する支援体制の整備を進めてきました。これらの支援策について、どのような感想を持っていますか。

平成30年		平成31年		令和2年	
100/126	79%	134/180	74%	82/120	68%

29. あなたにとって本学の博士前期課程は有意義でしたか。

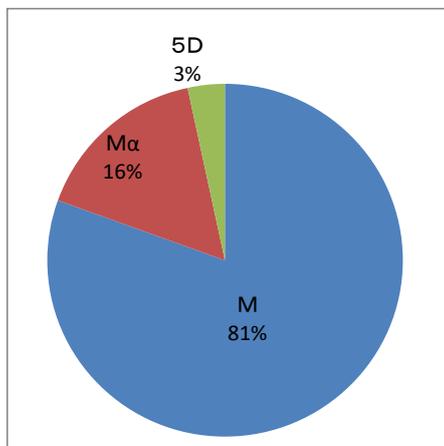
平成30年		平成31年		令和2年	
143/152	94%	188/198	95%	153/157	97%

< I 教育システムについて >

1. 本学では、学部3年から飛び入学後、4年間での一貫的な博士教育 (SDプログラム)、最先端の高度な科学技術の習得を目指す者を対象とした5年一貫的な博士教育 (5Dプログラム)、分野を変えて新たな専門分野に挑戦する者を対象とした2年3カ月～3年間の修士教育 (M α プログラム) の教育プログラムを準備し、高度できめ細かい教育を提供しています。あなたが選択したのはどの教育プログラムですか。

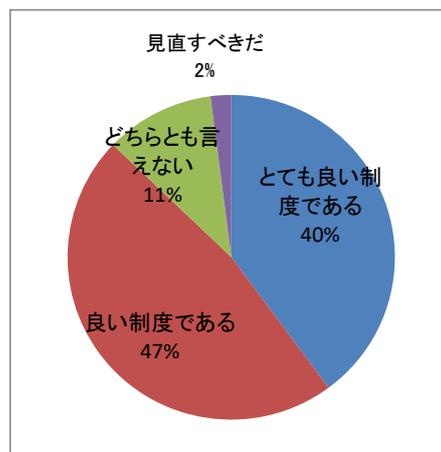
M	120
M α	24
5D	5
SD	0

※取得学位が修士(融合科学)の修了者は、Mに計上



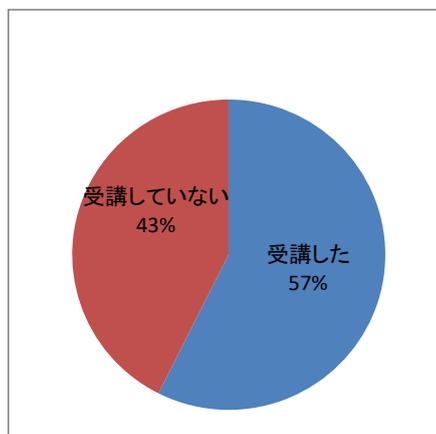
2. 本学では、単位制度を徹底するために専門科目の授業は極力午前中に開講し、午後は個別指導を行うためのチュートリアルアワーと教室外における準備学習・復習の自学自習時間、およびグローバルコミュニケーションセンター開講科目、その他の科目等の開講に充てています。この制度についてどう思いますか。Q2. 本学では、短期間で知識を修得するために、1期間8週間の講義期間を4期間設けるクォーター制を導入しています。この制度についてどう思いますか。

とても良い制度である	59
良い制度である	70
どちらとも言えない	16
見直すべきだ	3



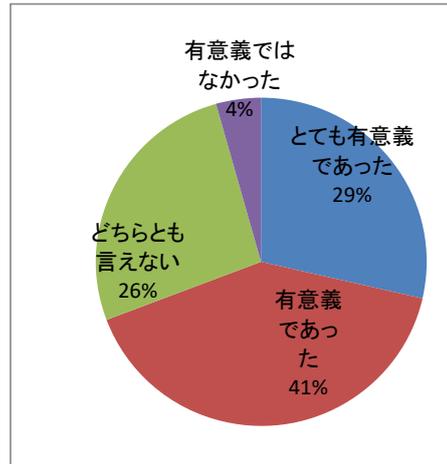
3. グローバルコミュニケーションセンター開講科目(旧先端領域基礎教育院科目を含む)についてお尋ねします。Lxxx科目、Exxx科目、Jxxx、Gxxx科目の開講科目を受講しましたか。

受講した	85
受講していない	63



5. グローバルコミュニケーションセンター開講科目群のうち英語科目の履修者にお聞きします。あなたの英語力向上に有意義なものでしたか。

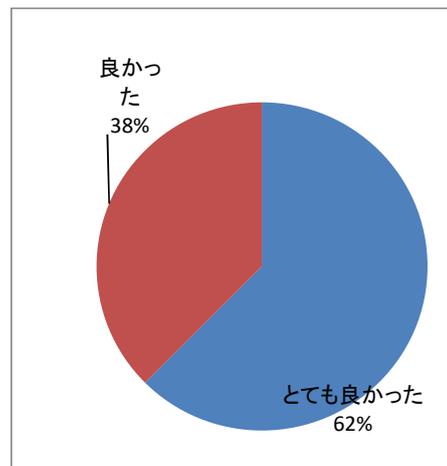
とても有意義であった	26
有意義であった	37
どちらとも言えない	24
有意義ではなかった	4



7. 社会人コース(東京サテライト)の修了者にお聞きします。授業や研究の内容はどうでしたか。

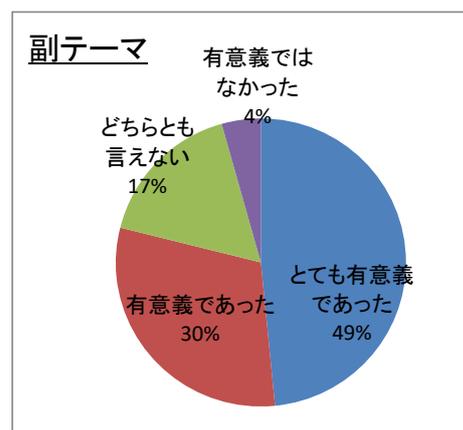
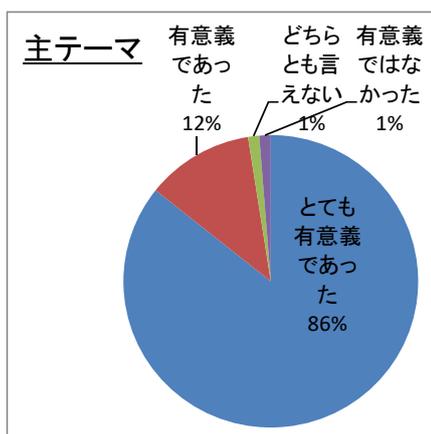
○授業や研究の内容

とても良かった	10
良かった	6
どちらとも言えない	0
悪かった	0



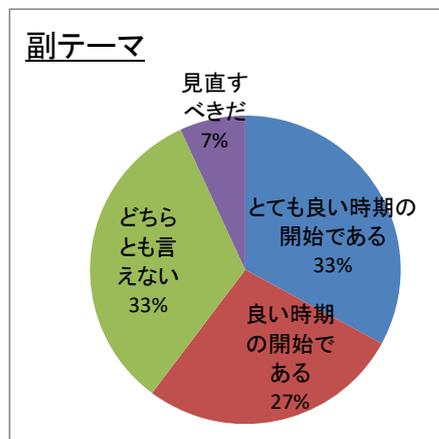
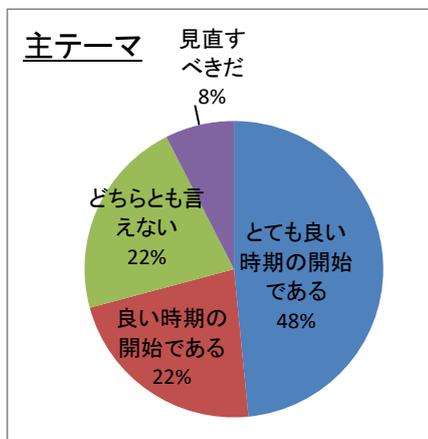
9. 本学では、幅広い基礎知識と能力の修得のため、主テーマ研究の他に副テーマ研究を設け、見識を広めて主テーマ研究に活かす制度をとっています。この主テーマ・副テーマ制度は、あなたにとって有意義な制度でしたか。該当の番号に○印を記入してください。※以下、取得学位が修士(融合科学)の修了者は、主テーマ研究を主任研究指導教員との研究、副テーマ研究をラボローテーション時の指導教員との研究に読み替え願います。

	主テーマ	副テーマ
とても有意義であった	138	78
有意義であった	19	49
どちらとも言えない	2	27
有意義ではなかった	2	7



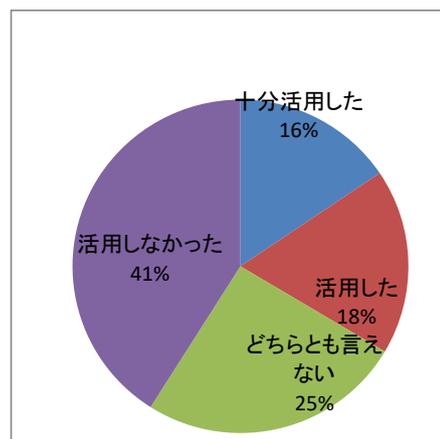
10. 主テーマ研究及び副テーマ研究の開始時期についてどう思いますか。

	主テーマ	副テーマ
とても良い時期の開始である	78	53
良い時期の開始である	36	44
どちらとも言えない	35	53
見直すべきだ	12	11



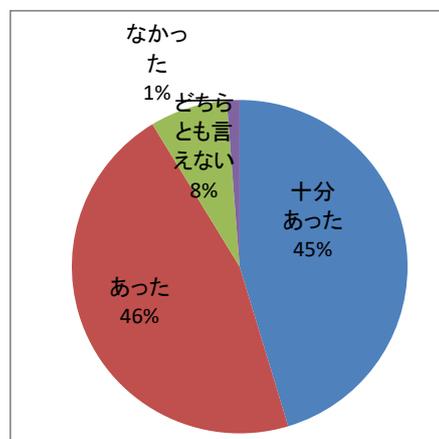
11. 本学では、計画的な履修を促すため、学修計画・記録書の作成を求めています。この学修計画・記録書は十分活用されましたか。

十分活用した	25
活用した	29
どちらとも言えない	41
活用しなかった	66



12. 本学では、主体的な学修を促す仕組み(ゼミでの発表、授業におけるレポート提出、学生グループによる取組等)があったと思いますか。

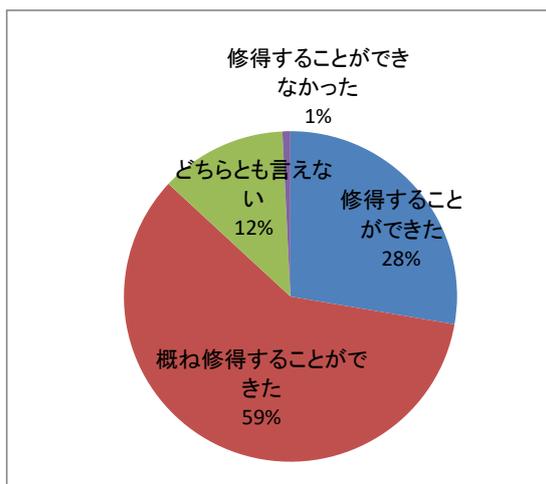
十分あった	73
あった	74
どちらとも言えない	12
なかった	2



13.【平成28年4月以降先端科学技術専攻入学対象】

あなたにとって、本学の博士前期課程は、『知的にたくましい』人材の養成に沿った教育』を受けることにより、上記のような力を修得することができましたか。

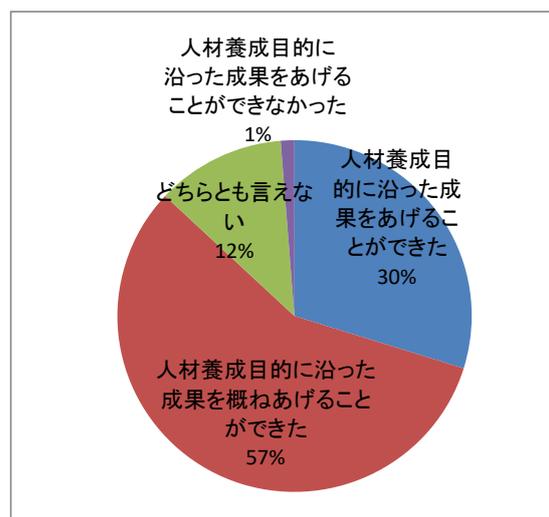
修得することができた	36
概ね修得することができた	77
どちらとも言えない	16
修得することができなかった	1



14. 本学では、研究科毎に人材養成目的を掲げています。

あなたにとって、本学の博士前期課程は、『人材養成目的に沿った成果』をあげることができるものでしたか。

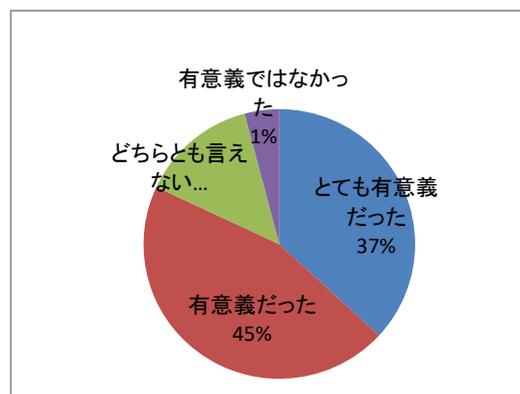
人材養成目的に沿った成果をあげることができた	48
人材養成目的に沿った成果を概ねあげることができた	92
どちらとも言えない	19
人材養成目的に沿った成果をあげることができなかった	2



【平成28年4月以降先端科学技術専攻入学対象】

15. 本学では、入学後1週間のオリエンテーションを実施し、学長講話、履修ルールの説明、研究室紹介、各学系・センター企画、語学教育・海外派遣、学生生活ガイダンス、進路ガイダンスなど様々な企画を実施し、本学の教育内容等を研修するとともに学生同士の交流を図っています。あなたにとってこの取組は有意義なものでしたか。

とても有意義だった	45
有意義だった	55
どちらとも言えない	17
有意義ではなかった	5

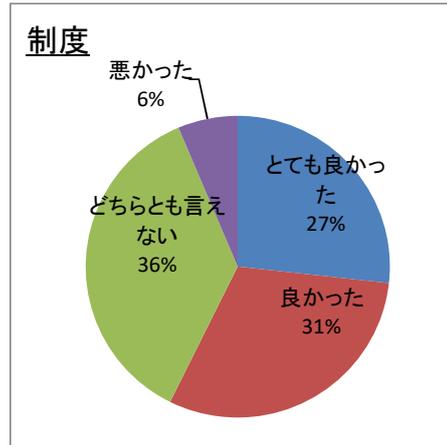


<Ⅱ 研究室指導体制について>

16. 導入配属(仮配属)について、どのような感想を持っていますか。

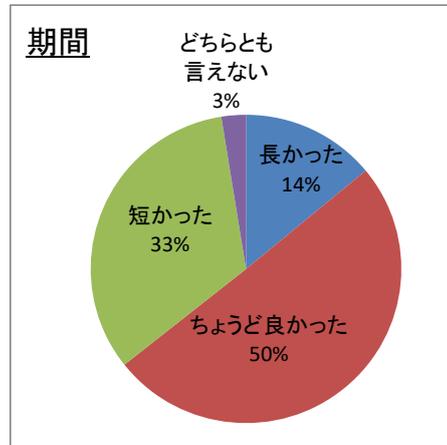
○制度

とても良かった	42
良かった	48
どちらとも言えない	57
悪かった	10



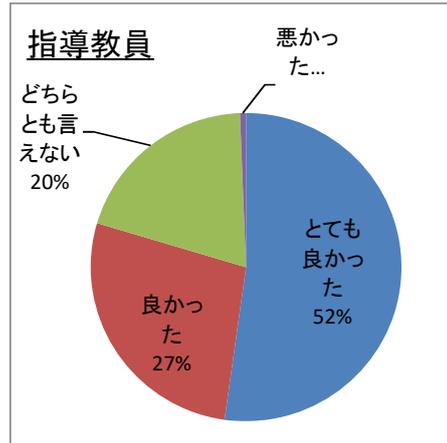
○期間

長かった	22
ちょうど良かった	79
短かった	52
どちらとも言えない	4



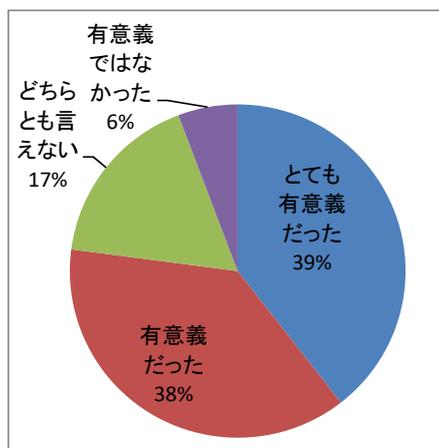
○指導教員

とても良かった	82
良かった	43
どちらとも言えない	31
悪かった	1



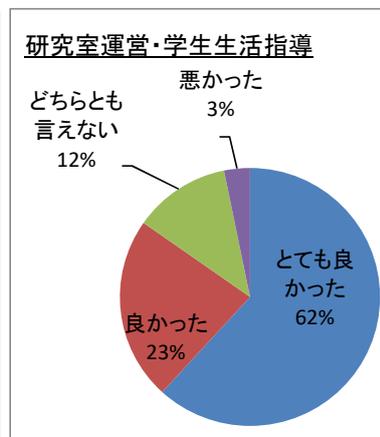
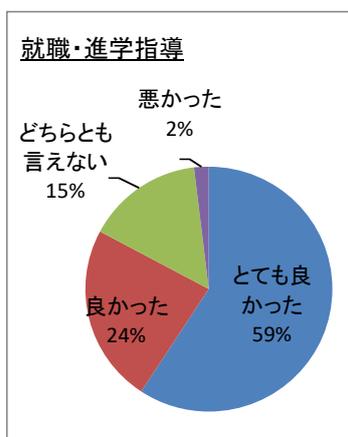
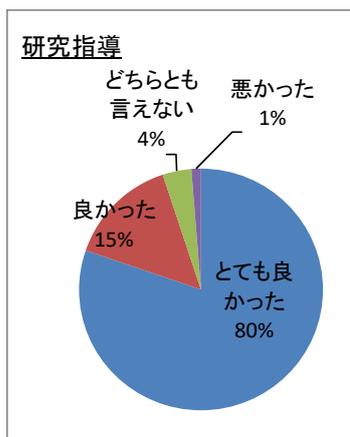
17. 本学では、学生1人に対して主指導教員、副指導教員、副テーマ指導教員又はインターンシップ指導教員の3人が様々な課題や立場から研究教育指導する複数教員指導制をとっています。この制度は、有意義な制度だと思いますか。※以下、取得学位が修士(融合科学)の修了者は、主指導教員を主任研究指導教員、副指導教員を副主任研究指導教員、副テーマ指導教員又はインターンシップ指導教員をラボローテーション時の指導教員に読み替え願います。

とても有意義だった	62
有意義だった	59
どちらとも言えない	27
有意義ではなかった	9



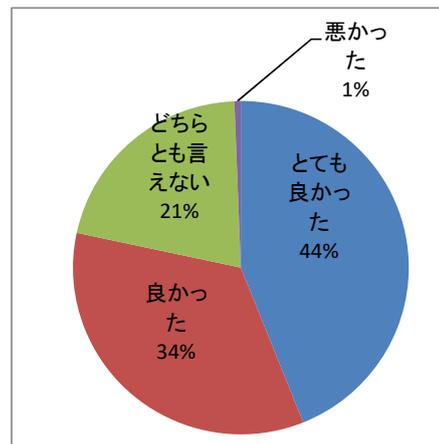
18. 主指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか。

	研究指導	就職・進学	運営・指導
とても良かった	126	93	97
良かった	23	37	36
どちらとも言えない	6	24	19
悪かった	2	3	5



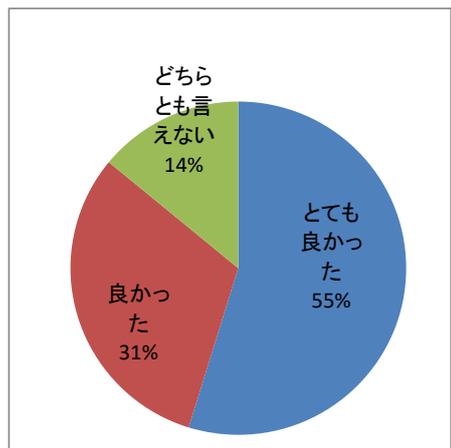
19. 副指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか。

とても良かった	69
良かった	54
どちらとも言えない	33
悪かった	1



20. 副テーマ指導教員又はインターンシップ指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか。

とても良かった	86
良かった	49
どちらとも言えない	22
悪かった	0

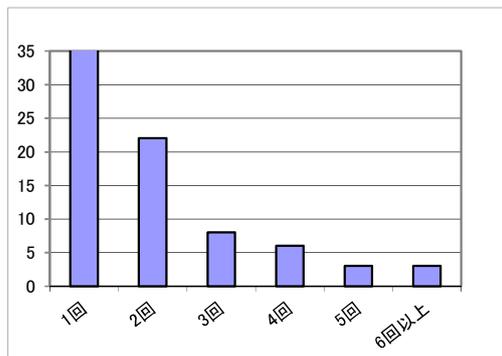


21. 本学在学中に学会発表は何回行いましたか。また、そのうち旅費等の助成を何回受けましたか。

学会発表

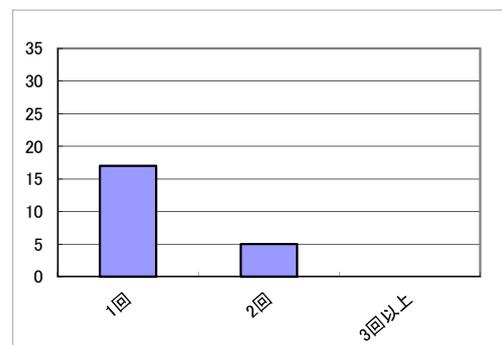
国内

1回	39
2回	22
3回	8
4回	6
5回	3
6回以上	3



海外

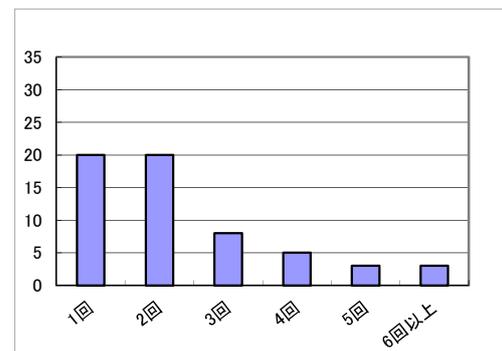
1回	17
2回	5
3回以上	0



うち費用助成あり

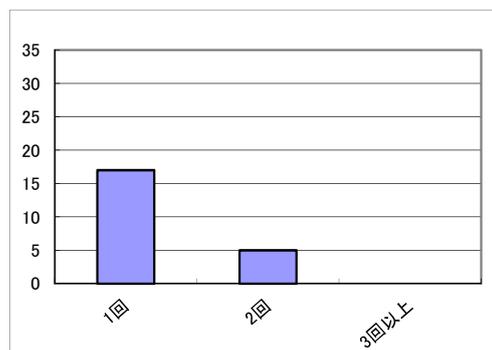
国内

1回	20
2回	20
3回	8
4回	5
5回	3
6回以上	3



海外

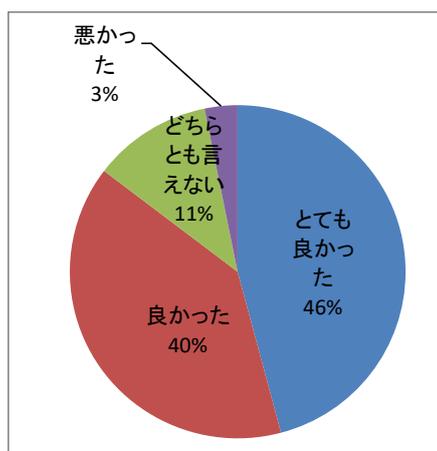
1回	17
2回	5
3回以上	0



<Ⅲ 学生支援等について>

22. 教育支援課、学生・留学生支援課の事務職員の全体的な対応について、どのような感想を持っていますか。

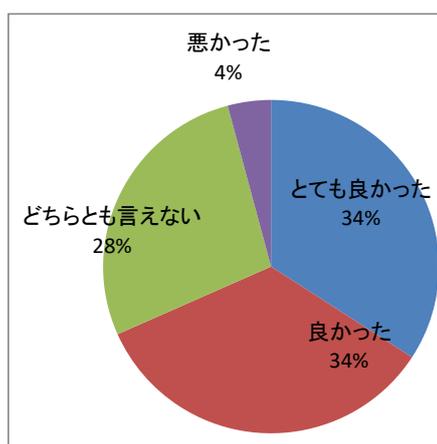
とても良かった	72
良かった	62
どちらとも言えない	18
悪かった	5



<Ⅳ キャリア形成支援等について>

26. 本学では、全学一体となったキャリア形成支援・就職支援行事等を学生・留学生支援課就職支援室と就職担当教員が連携し実施しています。また、自由応募・推薦応募に対する支援体制の整備を進めてきました。これらの支援策について、どのような感想を持っていますか。

とても良かった	41
良かった	41
どちらとも言えない	33
悪かった	5

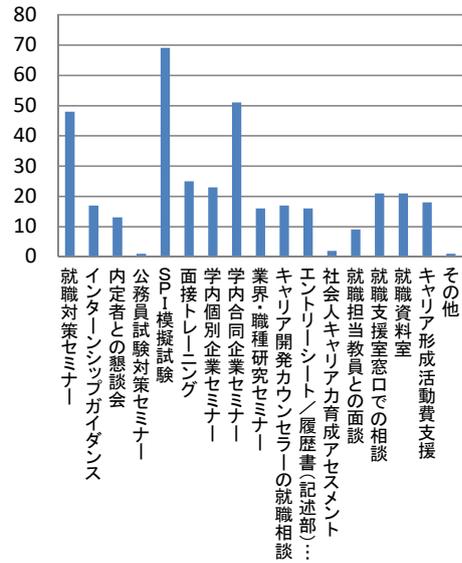


27. 本学でのキャリア支援で、役立ったものを上位3つまで選んでください。

本学でのキャリア支援

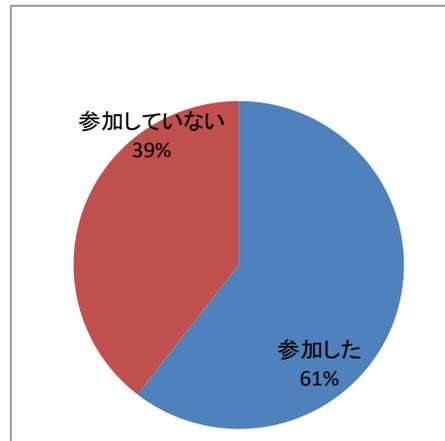
就職対策セミナー	48
インターンシップガイダンス	17
内定者との懇談会	13
公務員試験対策セミナー	1
SPI模擬試験	69
面接トレーニング	25
学内個別企業セミナー	23
学内合同企業セミナー	51
業界・職種研究セミナー	16
キャリア開発カウンセラーの就職相談	17
エントリーシート／履歴書(記述部)添削指導	16
社会人キャリア力育成アセスメント	2
就職担当教員との面談	9
就職支援室窓口での相談	21
就職資料室	21
キャリア形成活動費支援	18
その他 (その他) TOEIC	1

本学でのキャリア支援



28. 在学中に企業インターンシップに参加しましたか。

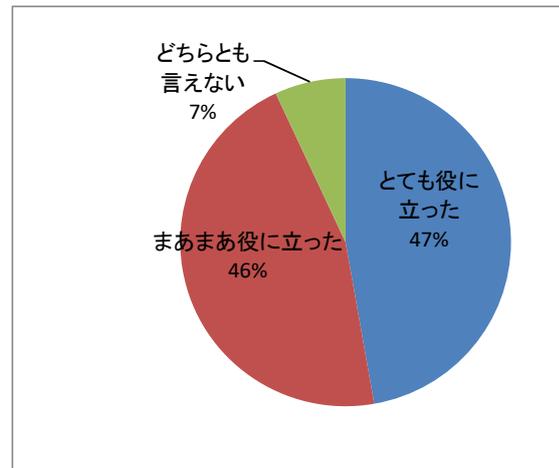
参加した	72
参加していない	47



○どのくらい役に立ちましたか。

とても役に立った	34
まあまあ役に立った	33
どちらとも言えない	5
あまり役に立たなかった	0

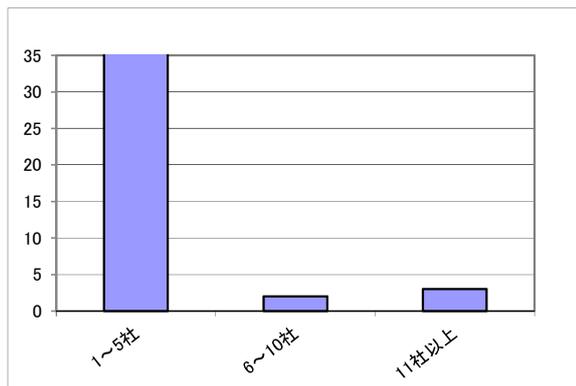
※インターンシップ参加した人(72名)の回答



28. 在学中に企業インターンシップに参加しましたか。

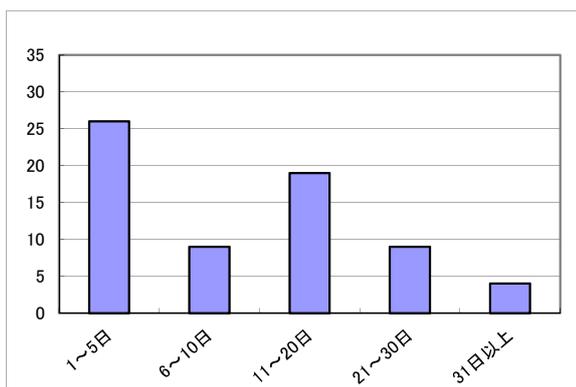
参加企業

1～5社	62
6～10社	2
11社以上	3



参加期間

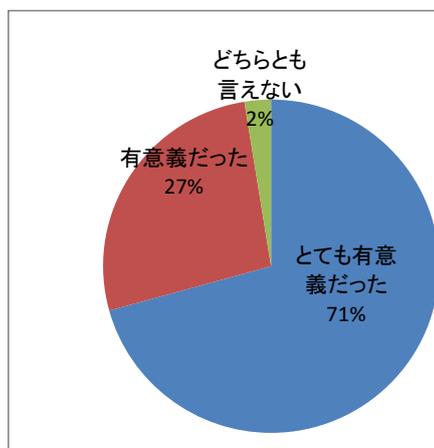
1～5日	26
6～10日	9
11～20日	19
21～30日	9
31日以上	4



<V 本学の満足度及び成果について>

29. あなたにとって本学の博士前期課程は有意義でしたか。

とても有意義だった	111
有意義だった	42
どちらとも言えない	4
有意義ではなかった	0



令和2年3月 博士後期課程修了確定者アンケート集計結果

- ◎概要 本学の教育システムの成果を評価し、教育研究活動の改善に反映させるため、実際に本学で教育を受け、研究に従事した修了確定者に対しアンケートを実施した。
- ◎実施期間 令和2年3月4日から3月25日(学位記授与式)まで
- ◎実施方法 理事(教育担当)・副学長名でアンケートの実施を電子メールで通知し、webによる回答又は学生・留学生支援課及び東京サテライト事務室内に回収箱を設置し紙による回答も可として実施した。

◎調査対象 学位別 知識5名、情報6名、マテリアルサイエンス9名 合計20名

◎回答者人数

学位	人数	学位別回答率
知識科学	5	100%
情報科学	6	100%
マテリアルサイエンス	8	89%
合計	19	全体回答率 95%

各項目の無回答分は集計から除いている。

寄宿舍居住者	14
社会人	3
東京サテライト	1
本学博士前期課程修了	6

参考:令和2年3月修了確定者アンケート集計結果の3年間の比較

・各項目ごとの回答のうち、肯定的な回答「とても良い+良い」等の比率を比較したものの。

5. グローバルコミュニケーションセンター開講科目群のうち英語科目履修者にお聞きします。あなたの英語力向上に有意義なものでしたか。

平成30年		平成31年		令和2年	
9/10	90%	7/8	88%	8/11	73%

9. 本学では、幅広い基礎知識と能力の修得のため、主テーマ研究の他に副テーマ研究を設け、見識を広めて主テーマ研究に活かす制度をとっています。この主テーマ・副テーマ制度は、あなたにとって有意義な制度でしたか。

主テーマ研究	平成30年		平成31年		令和2年	
	28/29	97%	17/17	100%	19/19	100%

副テーマ研究	平成30年		平成31年		令和2年	
	25/29	92%	15/17	88%	18/19	95%

10. 本学では、計画的な履修を促すため、学修計画・記録書(旧履修計画書)の作成を求めています。この学修計画・記録書(旧履修計画書)は十分活用されましたか。

平成30年		平成31年		令和2年	
11/29	38%	7/17	41%	7/19	37%

11. 本学では、主体的な学修を促す仕組み(ゼミでの発表, 講義におけるレポート提出, 学生グループによる取組等)があったと思いますか。

平成30年		平成31年		令和2年	
22/29	76%	14/17	82%	14/19	74%

12. あなたにとって、本学の博士後期課程は、『知的にたくましい』人材の養成に沿った教育』を受けることにより、上記のような力を修得することができましたか。

平成31年		令和2年	
7/7	100%	10/11	91%

13. あなたにとって、本学の博士後期課程は、上記の「人材養成目的に沿った成果」をあげることができるものでしたか。

平成30年		平成31年		令和2年	
23/29	79%	16/17	94%	17/19	89%

14. 本学では、入学後1週間のオリエンテーションを実施し、学長講話、履修ルールの説明、研究室紹介、各学系・センター企画、語学教育・海外派遣、学生生活ガイダンス、進路ガイダンスなど様々な企画を実施し、本学の教育内容等を研修するとともに学生同士の交流を図っています。あなたにとってこの取組は有意義なものでしたか。

平成31年		令和2年	
7/8	88%	12/15	80%

15. 本学では、学生1人に対して主指導教員、副指導教員、副テーマ指導教員又はインターンシップ指導教員の3人が様々な課題や立場から教育研究指導する複数教員指導制をとっています。この制度は、有意義な制度だと思いますか。

平成30年		平成31年		令和2年	
23/29	79%	14/17	82%	15/19	79%

16. 主指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか。

研究指導	平成30年		平成31年		令和2年	
	29/29	100%	14/17	82%	19/19	100%

就職指導	平成30年		平成31年		令和2年	
	23/29	79%	11/17	65%	15/19	79%

研究室運営・ 学生生活指導	平成30年		平成31年		令和2年	
	26/29	90%	14/17	82%	18/19	95%

20. 副指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか。

平成30年		平成31年		令和2年	
21/29	72%	15/17	88%	18/19	95%

21. 副テーマ指導教員又はインターンシップ指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか。

平成30年		平成31年		令和2年	
23/29	79%	16/17	94%	17/19	89%

22. 教育支援課、学生・留学生支援課の事務職員の全般的な対応について、どのような感想を持っていますか。

平成30年		平成31年		令和2年	
24/29	83%	14/17	82%	16/19	84%

26. 本学では、全学一体となったキャリア形成支援・就職支援行事等を学生・留学生支援課就職支援室と就職担当教員が連携し実施しています。また、企業への博士号保有者の就職に力を入れています。これらの支援策について、どのような感想を持っていますか。

平成30年		平成31年		令和2年	
10/16	63%	5/12	42%	9/15	60%

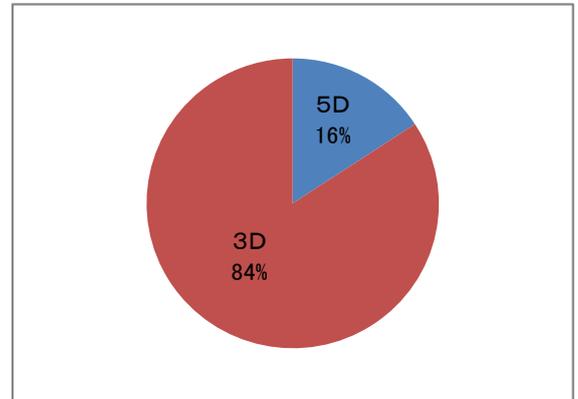
31. あなたにとって本学の博士後期課程は有意義でしたか。

平成30年		平成31年		令和2年	
29/29	100%	16/17	94%	19/19	100%

< I 教育システムについて >

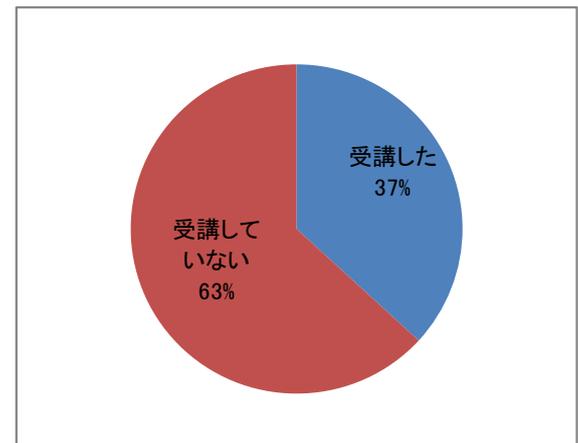
1. 本学では、学部3年から飛び入学後、4年間での一貫的な博士教育（SDプログラム）、最先端の高度な科学技術の習得を目指す者を対象とした5年一貫的な博士教育（5Dプログラム）を準備し、高度できめ細かい教育を提供しています。あなたの選択したのはどの履修プログラムですか。

5D	3
3D	16
SD	0



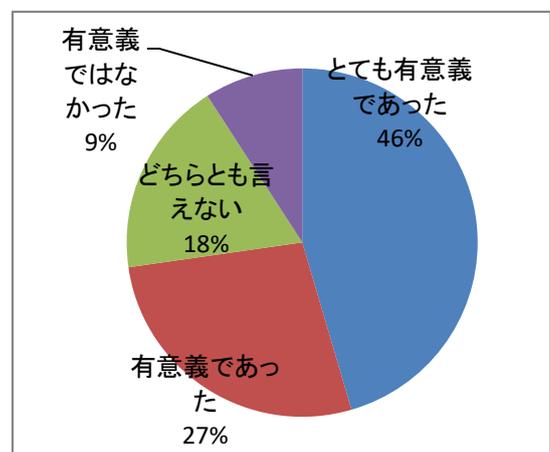
3. グローバルコミュニケーションセンター開講科目（旧先端領域基礎教育院科目を含む）等についてお尋ねします。後期課程にとって、Lxxx科目、Exxx科目、Jxxx科目、Gxxx科目の開講科目は適切でしたか。

受講した	7
受講していない	12



5. グローバルコミュニケーションセンター開講科目群のうち英語科目の履修者にお聞きます。あなたの英語力向上に有意義なものでしたか。

とても有意義であった	5
有意義であった	3
どちらとも言えない	2
有意義ではなかった	1



7. 社会人コース(東京サテライト)の修了者にお聞きします。

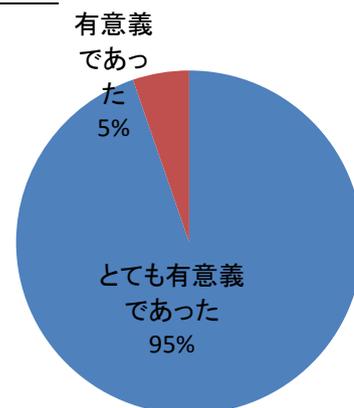
○講義や研究の内容

とても良かった	0
良かった	1
どちらとも言えない	0
悪かった	0

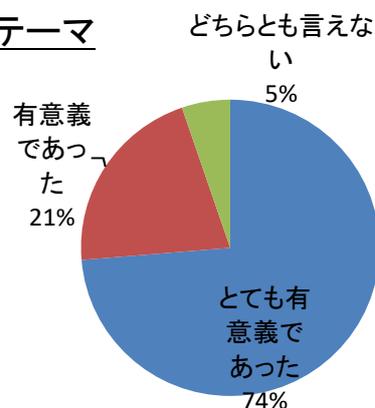
9. 本学では、幅広い基礎知識と能力の修得のため、主テーマ研究の他に副テーマ研究を設け、見識を広めて主テーマ研究に活かす制度をとっています。この主テーマ・副テーマ制度は、あなたにとって有意義な制度でしたか。

	主テーマ	副テーマ
とても有意義であった	18	14
有意義であった	1	4
どちらとも言えない	0	1
有意義ではなかった	0	0

主テーマ

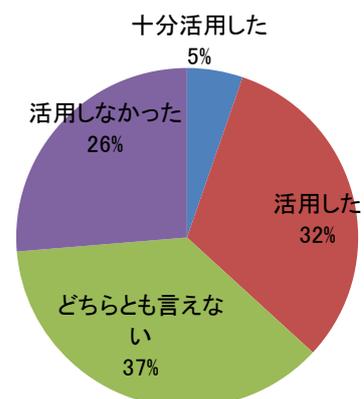


副テーマ



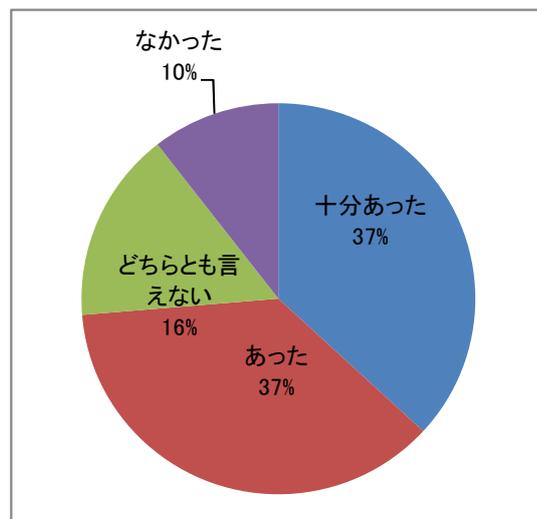
10. 本学では、計画的な履修を促すため、学修計画・記録書(旧履修計画書)の作成を求めています。この学修計画・記録書(旧履修計画書)は十分活用されましたか。

十分活用した	1
活用した	6
どちらとも言えない	7
活用しなかった	5



11. 本学では、主体的な学修を促す仕組み（ゼミでの発表、講義におけるレポート提出、学生グループによる取組等）があったと思いますか。

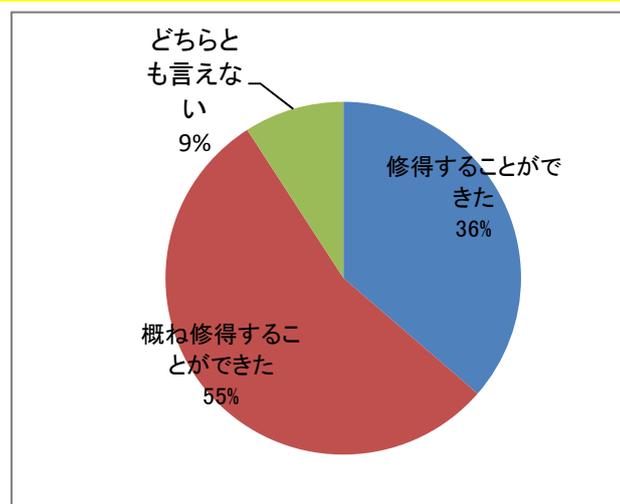
十分あった	7
あった	7
どちらとも言えない	3
なかった	2



12. 【平成28年4月以降入学者対象】

あなたにとって、本学の博士後期課程は、『「知的にたくましい」人材の養成に沿った教育』を受けることにより、上記のような力を修得することができましたか。

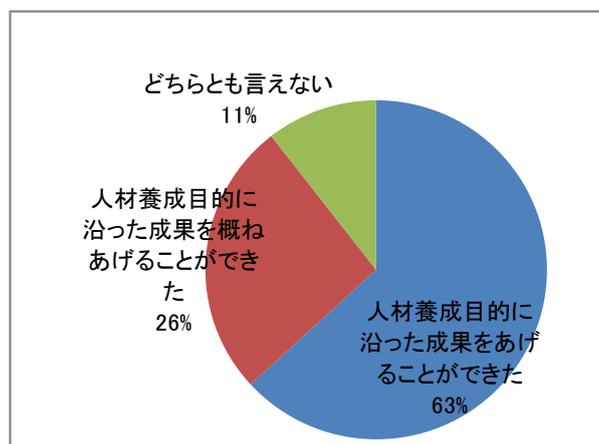
修得することができた	4
概ね修得することができた	6
どちらとも言えない	1
修得することができなかった	0



13. 本学では、研究科毎に人材養成目的を掲げています。

あなたにとって、本学の博士後期課程は、上記の「人材養成目的に沿った成果」をあげることができるものでしたか。

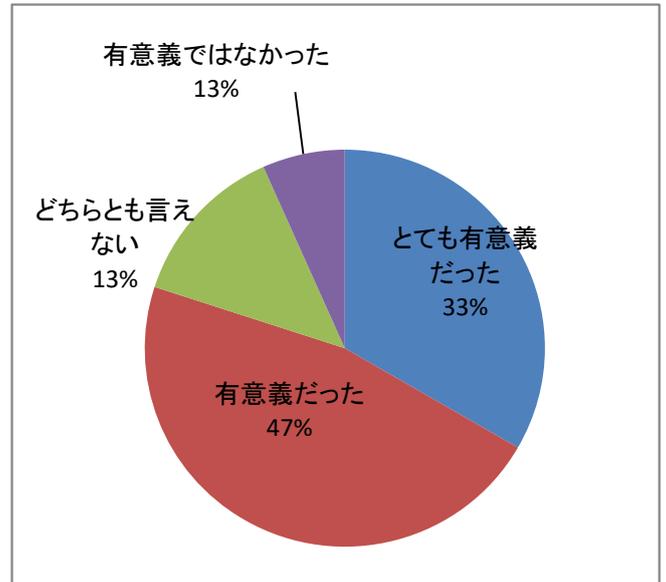
人材養成目的に沿った成果をあげることができた	12
人材養成目的に沿った成果を概ねあげることができた	5
どちらとも言えない	2
人材養成目的に沿った成果をあげることができなかった。	0



【平成28年4月以降入学者対象】

14. 本学では、入学後1週間のオリエンテーションを実施し、学長講話、履修ルールの説明、研究室紹介、各学系・センター企画、語学教育・海外派遣、学生生活ガイダンス、進路ガイダンスなど様々な企画を実施し、本学の教育内容等を研修するとともに学生同士の交流を図っています。あなたにとってこの取組は有意義なものでしたか。

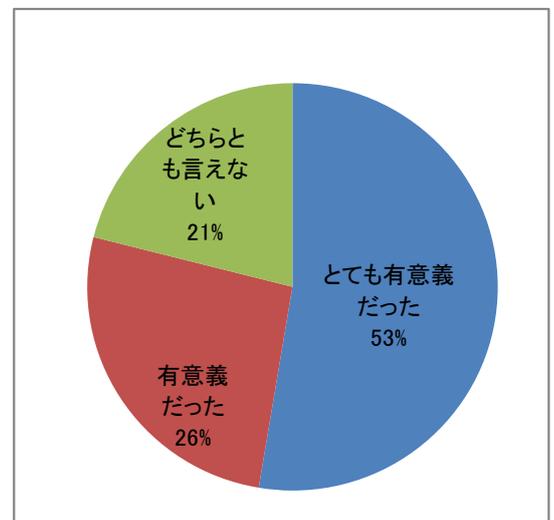
とても有意義だった	5
有意義だった	7
どちらとも言えない	2
有意義ではなかった	1



＜Ⅱ 研究室指導体制について＞

15. 本学では、学生1人に対して主指導教員、副指導教員、副テーマ指導教員又はインターンシップ指導教員の3人が様々な課題や立場から教育研究指導する複数教員指導制をとっています。この制度は、有意義な制度だと思いますか。

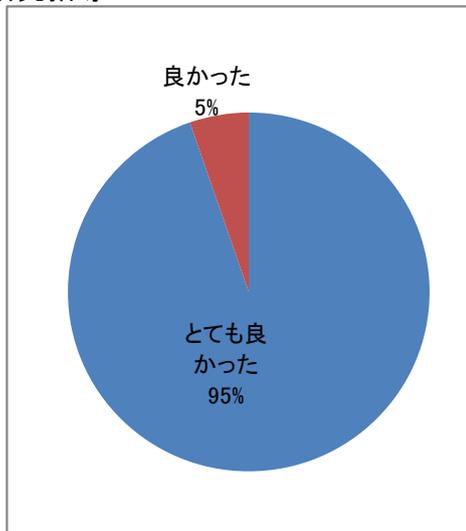
とても有意義だった	10
有意義だった	5
どちらとも言えない	4
有意義ではなかった	0



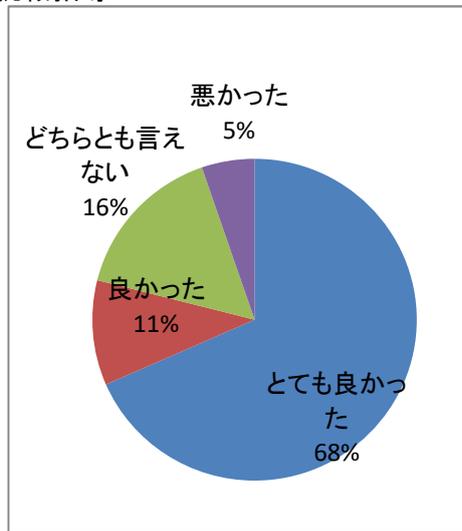
16. 主指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか。

	研究指導	就職・進学	運営・指導
とても良かった	18	13	13
良かった	1	2	5
どちらとも言えない	0	3	1
悪かった	0	1	0

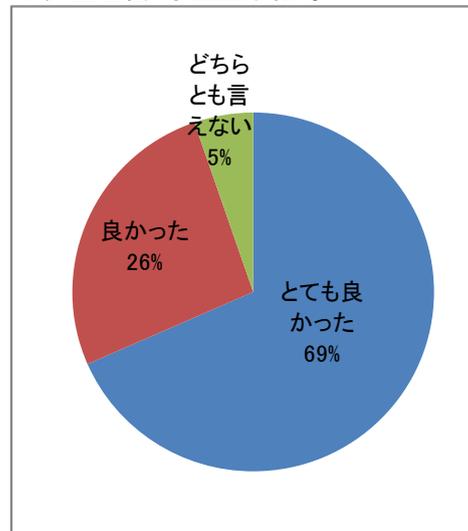
研究指導



就職指導

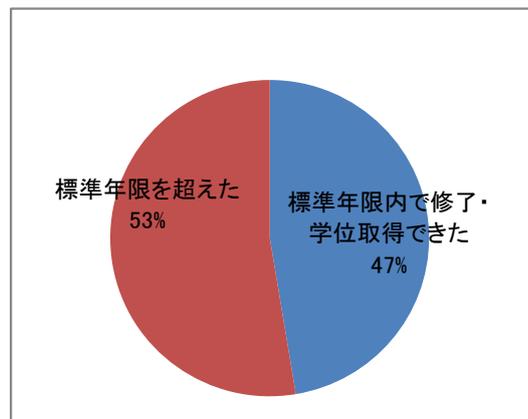


研究室運営・学生生活指導



17. あなたは、標準修業年限(3カ年)で博士学位を取得できましたか。標準年限を超えた方には、そのことをどのように考えているかお尋ねします。

標準年限内で修了・学位取得できた	9
標準年限を超えた	10



(標準年限を越えた理由)

研究の遂行上、予期せぬ結果がでたためである	2
テーマの設定が適切でなく、途中でテーマの変更をしたためである	0
研究結果のまとめに時間を費やしたためである	1
期待した結果がえられず、学会論文等が受理されなかったためである	1
病気等、研究を続けることが困難な期間があったためである	3
主指導教員と研究の方向性で意見が一致しなかったためである	0
その他	3

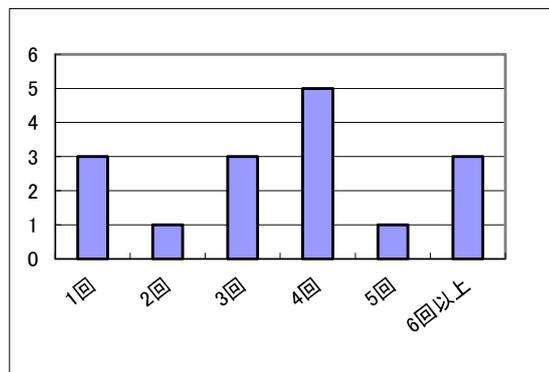
主テーマ以外の内容で留学していたため
日本で就職ために

18. 本学博士後期課程在学中に学会発表は何回行いましたか。また、そのうち旅費等の助成を何回受けましたか。

学会発表

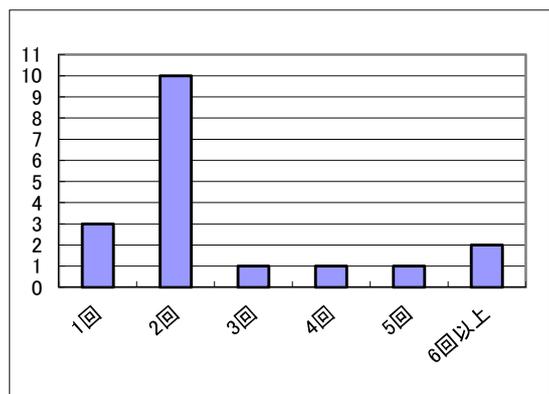
国内

1回	3
2回	1
3回	3
4回	5
5回	1
6回以上	3



海外

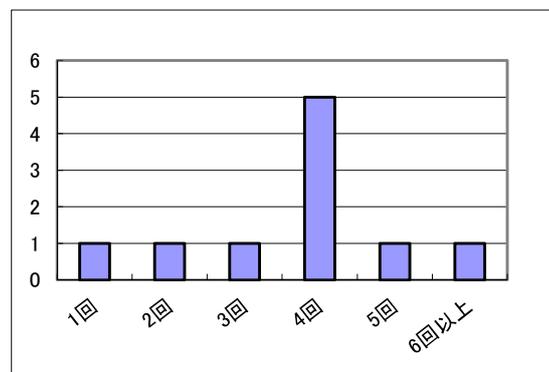
1回	3
2回	10
3回	1
4回	1
5回	1
6回以上	2



うち費用助成あり

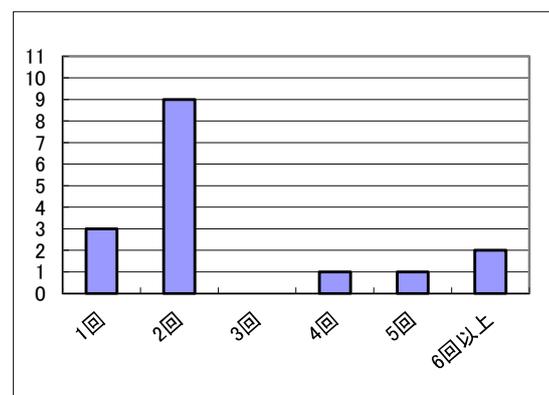
国内

1回	1
2回	1
3回	1
4回	5
5回	1
6回以上	1



海外

1回	3
2回	9
3回	0
4回	1
5回	1
6回以上	2



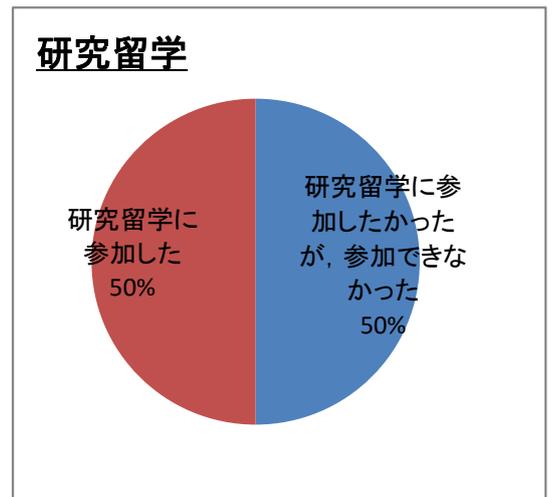
19. 後期課程では、研究留学および学外研修(インターンシップ)を奨励しています。あなたはそれらに参加しましたか。

研究留学

研究留学に参加したかったが、参加できなかった	5
研究留学に参加した	5

【参加できなかった理由】

- ・ My wife and my son have lived in JAIST with me. Thus, I cannot do the off-campus research.
- ・ because I have a daughter, I don't want to leave her
- ・ I didn't aware (maybe aware that only at the beginning of enrollment) of this off-campus research. If I do, I might don't know how to look for the place to conduct the off-campus research.
- ・ Because I could not speak Japanese.

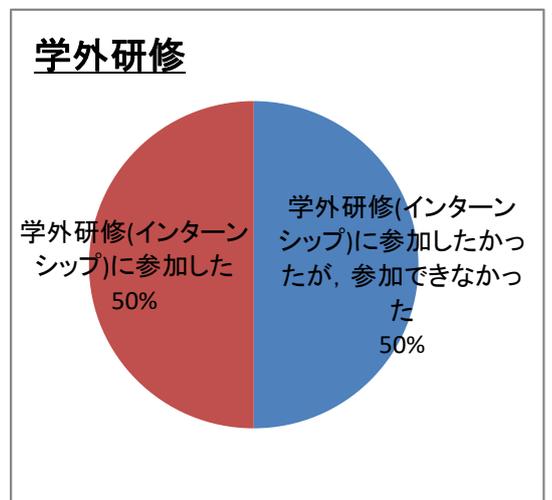


学外研修

学外研修(インターンシップ)に参加したかったが、参加できなかった	3
学外研修(インターンシップ)に参加した	3

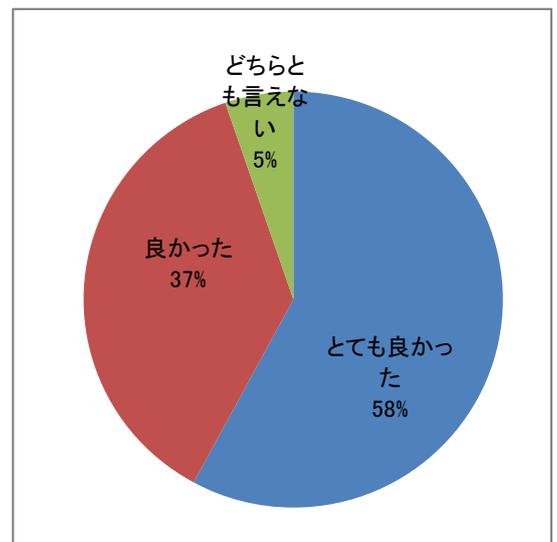
【参加できなかった理由】

- ・ 時間的に参加する余裕がなかった
- ・ the off-campus research only helps me to gain knowledge, but not follows:
 1. helping me to write scientific publications;
 2. helping me to learn ways of conducting research activities;
 3. helping me to widen my eyes to see my research from different point views.



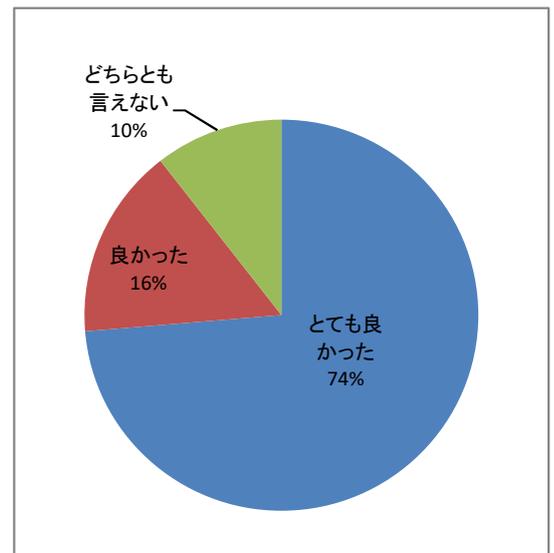
20. 副指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか。

とても良かった	11
良かった	7
どちらとも言えない	1
悪かった	0



21. 副テーマ指導教員又はインターンシップ指導教員の指導について、どのような感想を持っていますか。

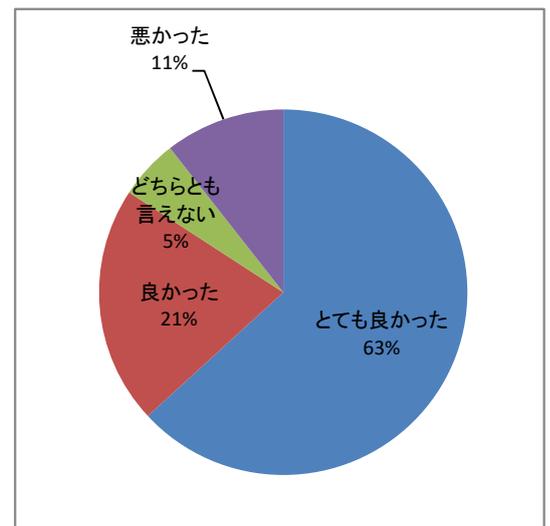
とても良かった	14
良かった	3
どちらとも言えない	2
悪かった	0



<Ⅲ 学生支援等について>

22. 教育支援課、学生・留学生支援課の事務職員の全般的な対応について、どのような感想を持っていますか。

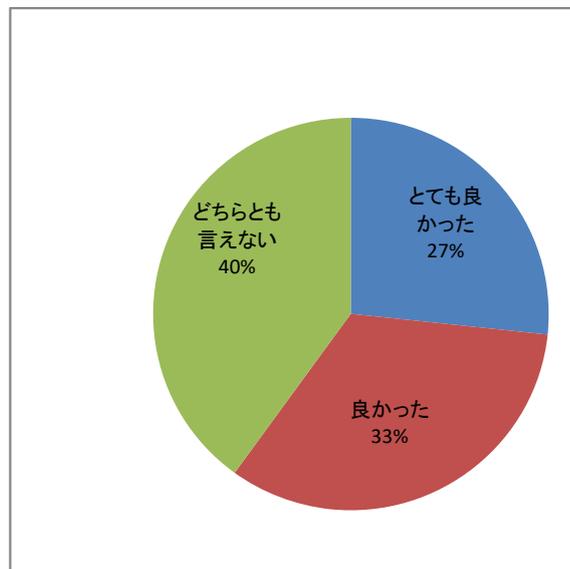
とても良かった	12
良かった	4
どちらとも言えない	1
悪かった	2



<Ⅳ キャリア形成支援等について>

26. 本学では、全学一体となったキャリア形成支援・就職支援行事等を学生・留学生支援課就職支援室と就職担当教員が連携し実施しています。また、企業への博士号保有者の就職に力を入れています。これらの支援策について、どのような感想を持っていますか。

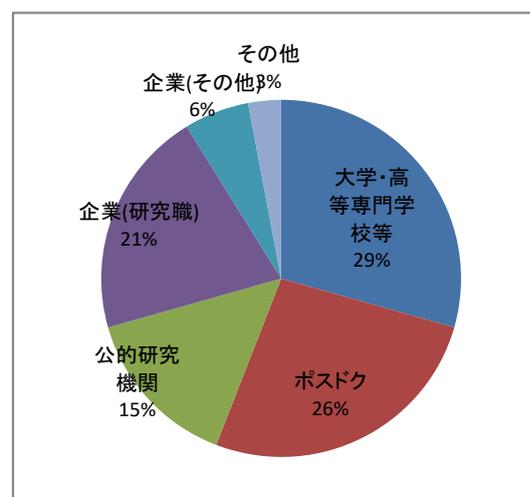
とても良かった	4
良かった	5
どちらとも言えない	6
悪かった	0



27. 就職先として検討したものを記入してください(複数回答可)。

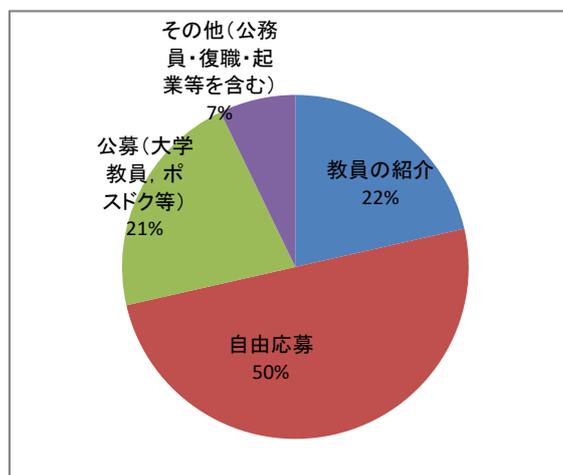
大学・高等専門学校等	10
ポストク	9
公的研究機関	5
企業(研究職)	7
企業(その他)	2
公務員	0
その他	1

現職継続



28. 就職決定先への応募方法について記入してください。

教員の紹介	3
自由応募	7
公募(大学教員, ポストク等)	3
その他(公務員・復職・起業等を含む)	1



29. 博士論文研究のテーマと、就職先の業務との関連はどうでしょうか。

研究テーマを継続できる	3
研究テーマに関連した業務につくことができる	6
研究テーマには関連しないが、自分の専門領域の業務につくことができる	2
研究テーマにはまったく関連しない業務である	0
配属先が未定なので判らない	2

30. 在学中に企業インターンシップに参加しましたか。

参加した	2
参加していない	8

どのくらい役に立ちましたか。

とても役に立った	2
----------	---

※インターンシップ参加した人(2名)の回答

< V 本学の満足度及び成果について >

31. あなたにとって本学の博士後期課程は有意義でしたか。

とても有意義だった	16
有意義だった	3
どちらとも言えない	0
有意義ではなかった	0

